

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：福間・澤村]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和4年度 病害虫発生予察情報 特殊報第2号（新病害発生情報）

令和4年9月21日

島根県病害虫防除所

メロン炭腐病の本県での初発生が確認されたので特殊報を発表します。

- 1 病害虫名 メロン^{すみぐされびょう}炭腐病
- 2 病原名 *Macrophomina phaseolina* (Tassi) Goid.
- 3 作物名 メロン
- 4 発生場所 県西部
- 5 発生経過

令和4年6月下旬、県西部の施設栽培のメロンにおいて、地際部が黒炭色に変色し（図1）、収穫間際の株が萎凋する症状が確認された。島根県農業技術センターで分離菌の形態的特徴及び塩基配列を解析した結果、*Macrophomina phaseolina* (Tassi) Goidによるメロン炭腐病であることが判明した。

国内におけるメロン炭腐病の発生は、平成13年に岡山県で初めて発生が確認され、平成29年には青森県で発生が確認されている。

6 病徴及び診断

1) 病徴

茎の地際部が黒炭色に変色し（図1）、茎病斑部に分生子殻、茎と根に直径0.1mm程度の微小菌核（図2）を生じる。

2) 診断

本病害は、メロンつる枯病、メロン黒点根腐病などと混同しやすいが、黒炭色の茎地際部、細根の脱落、直径0.1mm程度の微小菌核（小黒点）から識別できる。

7 伝染経路及び宿主範囲

1) 伝染経路

本病は、茎と根に形成された微小菌核によって土壌伝染する。微小菌核は、土壌中で数年間生存し、連作によって菌密度は高まる。

2) 宿主範囲

本菌の宿主範囲は極めて広く、ウリ科、マメ科、キク科、ヒルガオ科をはじめとした多種の植物に感染報告がある。

8 防除対策

- 1) 連作を避ける。
- 2) 発生ほ場では、罹病残渣を抜き取り、ほ場外に持ち出して焼却もしくは埋没処分を行う。
- 3) 発生ほ場で使用した資材、農機具、長靴等は洗浄・消毒を行う。

9 その他

疑わしい症状が発生している場合は、島根県病害虫防除所（農業技術センター 資源環境研究部 病虫科：0853-22-6772）に連絡する。



図1 茎地際部が黒炭色に変色



図2 茎（左）と根（右）に形成された微小菌核（小黒点）